

わたしたちの町

人口(男)…4,640人
(女)…4,981人
合計…9,621人
11月中の転入…16人
転出…29人
世帯数…2,306世帯

(11月末住民登録調べ)

広報

あいかわ

昭和56年12月19日 第283号 秋田県合川町 編集 総務課 電話 018678-2111

広報は、毎月15日に発行を予定しています。中学校生徒会の委託により、各家庭に配布されますので、届かない場合は役場総務課にお知らせください。

広報へのニュースの提供や意見等もおまちしています。



『来年こそ、豊作を!!』と
全校生徒が力をあわせて

学校田のもち米で

「自分たちでつくったモチはうまいなあ。」合川中学校では十一月二十八日、全校モチつき会を行いました。今年四月の学習田でウルチ米、モチ米あわせて千二百キロ(二十俵)を収穫。風冷害で期待量には及びませんでした。周囲の田んぼに比べてまずまずの出来秋でした。経費と小作料を差し引いた残りの約十萬円で、「いなほ文庫」として図書を購入。この日は五十キロのモチ米を全員でつき上げ、あずきもちと「つゆっこもち」で収穫を祝い合いました。田植え、草とり、稲刈りなどの「勤労体験」を経験した生徒たちは、思いもよる味は格別のようなす。一年生はモチつきがこの日、初体験の人も多く、大はしゃぎでした。

合川中学校もちつき会

大野台電機株式会社では今年七月上旬に工業団地を視察。八月に進出決定を発表し三ヶ月の研修期間で操業を開始しました。高橋一社長は「町長をはじめ、地域の熱意に動かされて」と語り、「地域の発展にできる限り協力したい」と創業のあいさつ。工場内外に、明るい気配がみなぎっています。

同社では独自に研究開発した電機部品「ソレノイド」を生産。ソレノイドは自動機械にはなくてはならない部品で、自動車、ラジオカセット、自動販売機などに使われています。留守番電話、テレビビデオなど用途は広がる一方で、本社の高橋電機(株)ではこの分野の最大手企業として知られ、着実に業績をのびています。

大野台では現在五十四名が、ソレノイドの半製品を製造。指先に精神を集中させる作業だけに、真剣な視線が目につきます。製品はトラックで本社に直送。来年四月には現在本社研修中の十一名を加えて、機械設備をふやし完成品として送り出すことにしています。

「家から通えることが最大の魅力。工場ができて本当によかった。」

「仕事にハリがある。町の代表のつもりでがんばる。」工場内では



誘致第一号の新会社。作業のひとつひとつに熱がこもる。

地域の「夢」
雇用の場が実現

将来は一社で
三百人規模に

同社では五十八年度には従業員二百人に規模を拡大する計画。最終的には三百人程度にしたい。意向も示しています。同団地内に進出の決定している「東洋精箔株式会社」「扶桑精工株式会社」でも、六十年代操業にむけて新卒者の採用を内定しており、地域全体から期待を集めています。

大野台工業団地に待望の

第二号 大野台電機株が創業

十二月一日、うすすらと雪化粧した大野台工業団地に、待望の誘致企業が操業を開始しました。同団地には三社の誘致が決定していますが、その第一号として「大野台電機株式会社」が生産を開始したものです。従業員は現在六十五名。四月までに従業員を八十名とし、設備建物も増設する計画で、町全体に躍動する活気を与えています。

希望にあふれる声でいっぱいです。

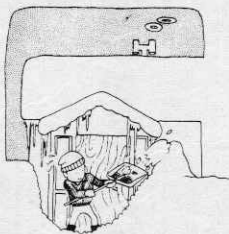
七 草

元旦から一月七日までは松の内と呼ばれ、七日は正月気分がしめくくりの日です。七草粥(かゆ)には、正月の楽しい気持ちを新鮮な若葉の香りでひきしめる意味もあるようです。春の七草は、セリ、なすな、こぎょう(母子草)はこべ、ほとけのざ、すずな(かぶ)、すずしろ(大根)の七種ですが、雪深い当町の正月には手に入らないものがほとんどです。このためタラの芽、ゴボウ、ニンジン、ワラビなどに代用する例が多いようです。

七草粥を食べると一年中の悪運が除かれ万病が追い払われるというまじないがあります。神仏に供えた餅を入れた七草雑煮粥は一種の健康食でもあったのでしょう。また、七草粥にはその年の豊作の予祝の意味もこめられているといわれています。

正月の食事はアルコールの入る機会が多くなり、不規則になりがちです。七草粥で体調を整え、健康な体で、豊作に向かいましょう。

みんなで
道路を守りましょう



- 路上駐車は絶対にやめましょう。
- 道路には雪をすてないで下さい。
- 事故の原因にもなります。
- 役場前の長時間駐車はカギを警備室にあずけて下さい。

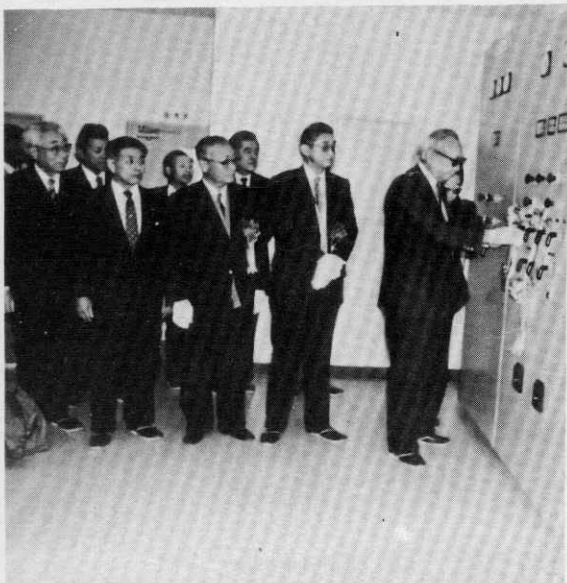
除雪にご協力を!!

昭和五十六年は異常気象災害と不況の年であったがこのような悪条件から学びとることも人間の知恵である。悪条件から学ぶことをしばらく忘れていたが、このような反省は人間にとって大切なことだ。高度成長は人間に反省、自重、我慢を喪失させて、まねごとをしていくうちに第一次産業の農林業がどう破壊されたか、今よくやくわかってきた。農林

町長日記から

業、製造業が展開しないと商業や遊興的産業が栄えるはずはない。にもかかわらず、人々の心は第三次産業の宣伝へと直結する。しかし、それも限界がある。笛吹けど無き袖は振られない。こうして長期不況がつづいては大変である。お互いに自分の身辺をよく見詰めて、今年の決算をしよう。

(義)



関係者の見守る中、町長がメインスイッチを入れる。

東地区簡易水道竣工

「これで飲める、良質の水」

□ 道城・上杉・下杉・川井・大野台地区に待望の簡易水道の布敷が、終り十二月一日から給水が開始されました。工事は昨年八月着工。五十五年、五十六年の二カ年で八億二千四百四十一万六千六百六十六円を要しました。給水人口は約三千二百人。給水地区内には大野台工業団地、大野台の里福祉施設もふくまれ、将来の町のつくりの「幹水」になるものと期待されています。

東地区簡易水道の水源は、カントリーエレベーター付近と上杉地区の二カ所。良質で、水量は将来の給水人口の増加にも対応できるとされています。

当地区内には、慢性的に水不足に悩んでいる家庭や、良質の水に恵まれなかった家庭も多く、「これで安心して飲める」と喜ばれています。特に大野台地区は「水」が開発の力をにぎると言われてきました。

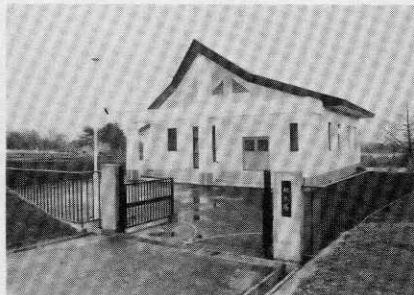
美しい建物に最新式の設備

水源の水は浄水場（上杉）で滅菌し、大野台の高地にある配水場に運ばれます。配水場は付近の景観にマッチした北欧風の美しいスタイルが自慢です。配水場からは大野台地区の各部落にはポンプによる圧送方式、平坦な地集落には落差を利用した自然流下方式で各家庭に給水。給配水の調整は、すべてコンピュータによって行なわれる最新設備です。配管は延べ三万三千メートル。あわせて七十一基の消火栓が新設され、地区の消火能力は大幅に向上しました。補助対象工事費七億四千七百

万円のうち四〇％が国庫補助金

進む環境整備簡水普及九二％

東地区簡易水道の計画給水人口は三千二百二十人。下杉地区、道城地区では百％加入。東地区全体の加入率は、計画に対して九八％の高率になっています。東地区簡易水道の給水開始と



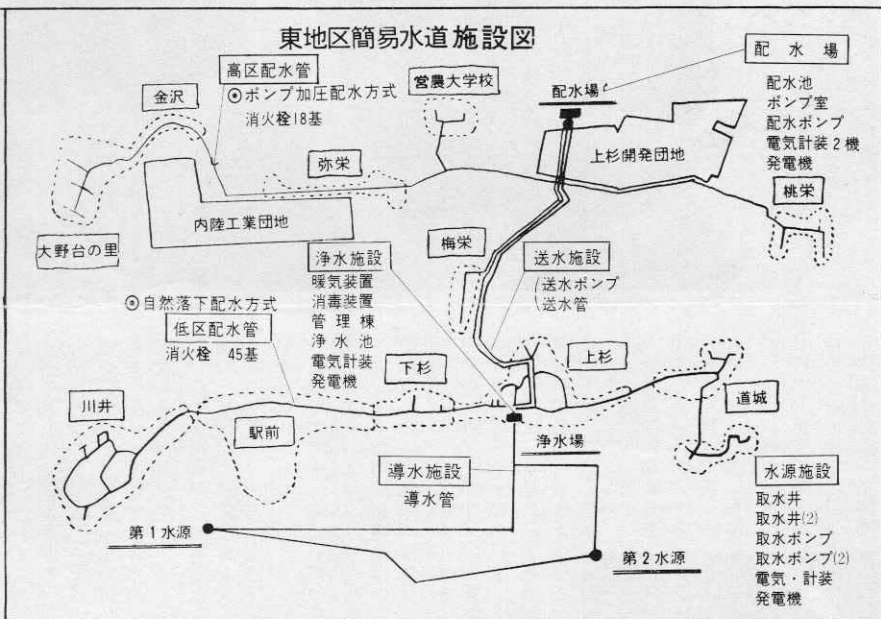
まわりの風景にマッチした美しい建物（配水場）

東地区簡水は年金資金環境改善センターは簡保資金

役立っています。私たちのかけ金

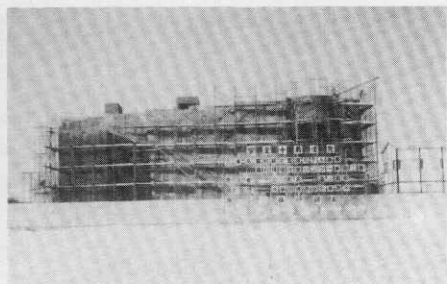
町では「国民年金」「簡易保険」の積立金から融資を受けて毎年大きな仕事をしています。あなたの国民年金や簡易保険のかけ金が、デック還元されて私たち町づくりに役立っているのです。

五十五・五十六年の二カ年事業で行なわれた東地区簡易水道では、八億二千四百四十一万六千六百六十六円のうち八千八百八十八万円は国民年金資金をふくむ起債



同じ日に、大野台工業団地には誘致第一号の大野台電機（株）

が創業。給水範囲内には、上杉工業団地、宮農大校、大野台工業団地、総合福祉施設、大野台の里がふくまれています。町内では残る杉山田雪田地区、羽立地区をのぞいて、簡易水道が普及。普及率は九二％になり「環境整備の進んだ住みよい町づくり」が大きく進みました。



工事がすすむ農村環境改善センター（簡保資金）

飲酒運転防止

ほんの一杯だけが命とり

飲酒運転による事故が増える季節です。ほんの一杯だけ……の軽い気持ちで、命取りになりかねません。「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバーはもうろん、みんなが自覚し合いましよう。

アルコールは「マヒ剤」

飲酒運転の実態を見ると、酒に対するドライバーの認識不足がめだちます。なぜ飲酒運転をしたか、という問いに対して「あまり酔っていないかと思ったから」とか「少ししか飲んでいないから」という答えが多く、これらはアルコール



は三万円以下の罰金。違反点数は六分で免許停止になります。飲酒の影響で正常な運転ができないと認められた場合は二年以下の懲役または五万円以下の罰金で違反点数は十五点。免許は取消しです。厳しい罰則があるにもかかわらず、加害者、被害者ともに不幸のどん底につき落とす飲酒事故はあとをたちません。飲酒運転は飲んだ人もすめた人も罪になります。「二日酔い」でも違反になります。朝の通勤時は家庭でも気をつけましょう。

事故や犯罪をなくして 明るい正月をむかえましょう。

火の用心・換気の用心

時々空気を入れかえを

燃えているロウソクにコップをかぶせると……小学生の理科の実験を思い出してください。ロウソクの火はまもなく消えます。

空気が密閉されやすい最近の住宅では、これと同じ状態になりかねません。当然、中に住んでいる人間も「ろうそくの火」と同じ運命になります。

一時間でドラム缶三十六本の空気

それでは物が燃えるにはどのくらいの空気が必要でしょう。家庭で使われているガスコンロは一時間続けて使用するとドラム缶十二本分。小型ガス瞬間湯沸器ではドラム缶三十六本分の空気が必要



火の用心、換気の用心。寒い時にはどうしても部屋を閉めきりにしたくなります。ストーブやコンロをつけっぱなしにしていると燃焼に必要な空気の量が不足して不完全燃焼を起こします。頭痛やめまいを感じたら酸素欠乏症か一酸化炭素中毒。場合によっては命を失いかねません。火を使う時は「火の用心」はもちろん、換気の用心「もお忘れなく」。

なお、建築基準法では建築物の換気設備について規定と技術基準が設けられています。建物を建てる時には建築基準法を正確に、安全で快適な住まいづくり

合川町成人式 のお知らせ

町の成人式は、次のとおり開かれます。本人または父兄あてに案内状を送りますので、連絡を取り合ってください。

対象 昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれた方。町で生まれた方は現在、在住している方で合川中学校卒業生以外の対象者は、公民館（電話二二一一）までお知らせください。

日時 一月四日（月）午前九時半から

会場 合川町役場



新成人の作文 を募集します

新成人の皆さんの記念作文を募集しています。成人となった意義を表現するものであれば内容は自由です。自分自身の記念の意味で気軽に応募してください。

◎締切 十二月二十五日

◎応募先 合川町駅前
合川公民館



世界一の新名所をつくろう 大野台に10km 2,000本の桜並木

当町区間で植栽完了



□「大野台の雄大な景観をいかした、日本一」の新名所をつくろう。―当町、鷹巣町・森吉町の三町□
□でつくっている大野台農業開発期成同盟会（会長□
□・島山町長）では、大野台農業道路を十キロ□
□メートルの桜並木の造成を計画。当町区間七・七□
□キロメートルの植栽を完了しました。

二千本の桜は財団法人「日本桜の会」から寄贈を受けたもので、関係三町に配分。当町には千五百四十本が寄贈されました。植栽作業は苗木到着前からすめられ、町建設業協会が植穴掘りや支柱づくりを作業協力。

十一月二十日から町林業研究グループ、町営林作業員、建設業協会、役場職員が手分けして植え付け作業を行ないました。作業は小雪が降る中で行なわれ、それぞれに慎重な作業。十メートル間隔に道路の両側に植え付けられました。

大野台を南北に縦貫する農業道路として、開発の基幹道路として期待されています。桜は害虫や野兎の害が心配されますが、地元部落関係者を中心に「日本一、いや世界一の桜並木をつくろう」と誓い合っています。

じょうぶな体・豊かな心 元気な子どもを育てよう

合川町の保育を語る会

合川町の保育を語る会は十一月二十二日、役場会議室で開かれました。この会は「身心ともにすこやかな子供を育てるために、関係者が一体になって話し合おう」と開かれていたもので、保育園PTAの呼びかけではじまったものです。

今年のは、父兄、保母、小中学校関係者、町から七十名が参加。健康づくり、しつけ、遊びの三分科会で熱心な話し合いが行なわれました。秋田県児童館長佐藤進氏が「未来を託する子どものために」と題して講演。「大切なことをくり返して教えることがたりない」と指摘。経験豊かな子育て



真剣な視線が集まる。

新田目児童館 待望の完成

十一月二十九日、町立新田目児童館の竣工式が行なわれました。

新田目児童館は町で五番目の国庫補助児童館。木造平屋建てで、ステージ付き遊戯室、調理実習室、学習室二室、図書室などの設備があります。総工費は千八百九十万円。新田目部落では部落民こぞの芸術大会などで児童館の完成を祝っていました。



丸紅基金から 二百三十万円

合川新生園

社会福祉法人秋田県民生協会合川新生園に丸紅基金（社会福祉法人・理事長池田太郎丸紅KK社長）から二百三十万円の助成金が贈られました。

丸紅基金は社会福祉活動や教育振興などのために昭和四十九年設立。年間百五十万円に及ぶ全国からの要請の中から、事業内容を審査し、特に社会的意義の大きい活動として助成が決定したものです。



根本宏丸紅東北支店長補佐から
木村士郎施設管理者に基金を贈呈

駅待合室に 座ぶとん

後藤スナさんから善意

合川駅待合室の長いすに座ぶとんが取り付けられました。これは後藤スナさん（駅前後藤呉服店）から贈られたもので、高校生や通勤者など、駅利用者には後藤さんのあたたかい贈り物に大喜び。感謝の声が寄せられています。

東北電力から 防犯灯二基

東北電力から防犯灯二基が寄贈されました。東北電力からは毎年、春、秋のサービス運動で町に防犯灯が贈られており、これで四十一灯の防犯灯がつけられ、明るい町づくりに役立っています。

町のこよみ (行事予定)

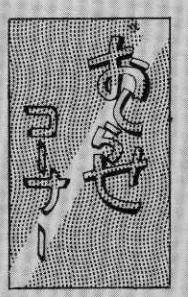
- 十二月
- 20日 東地区こよみ講座
- 28日 公官庁仕事納め
- 4日 公官庁仕事始め
- 5日 合川町成人式
- 10日 町消防出初式
- 11日 成人学級
- 17日 大野台の里成人式
- 17日 町民スキー大会

あなたもどうぞ 公民館の講座へ

- 公民館の生涯教育講座が十二月七日から開かれました。今年のは次の九講座が開かれています。
- 社交ダンス 毎週木曜日午後六時～九時
- 和裁 毎週月・火曜日午後六時～九時
- 編物 毎週水・木曜日午後六時～九時
- 茶道 毎週月曜日午後一時半～三時
- 料理 毎週二・三回午前九時～
- 手芸 毎週火曜日午後一時半～三時
- 書道 毎週木曜日午後一時半～三時
- 民謡踊り 毎週水曜日午後一時～三時

物価調査に 御協力ください

合川町消費者会議では十一月から町内各商店で物価調査を実施しています。消費者の利益を守り町内商工業を発展させるための諸活動を行



精神衛生相談

県精神衛生センターの相談日は次のとおりです。酒害相談もあわせて行なわれていますので利用ください。

日時 毎週月曜日から金曜日、午前九時から十一時まで

場所 秋田市中通二一五二 秋田県精神衛生センター
〇一八八―三四―二九〇六

最低賃金は 二千七百十円です

十月十六日から県の最低賃金は一日二千七百十円（二時間三百三十九円）になっています。最低賃金には次の賃金は含まれていません。

- (1) 精進手当、通勤手当、家族手当
- (2) 臨時賃金及び一カ月をこえる期間ごとに支払われる金額
- (3) 時間外手当

ご存知ですか フルムーン夫婦パス

国鉄では、十月から「フルムーン夫婦グリーンパス」を発売しています。このパスは、年齢が二人あわせて八十八歳以上の夫婦が利用できるもので、通用期間内であれば全国の特急、急行、普通列車それぞれグリーン車に何回でも乗ることが出来ます。問い合わせ、切符のお求めは合川駅を利用ください。

たばこは町内で 専売公社から役場用はいざら 二台が寄贈されました。

